

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 北秋田市議会 12月定例会

順位	2-5	質問者	15	佐藤 文信	(新創会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 予算概要版について ①予算概要版の発行について 広報特別委員会で栗原市を研修したときに配付されました資料の中に令和4年度、お金の出所と使い道（栗原市予算概要）がありました。その内容は大変、明解であり、1年間の市政の基本的な姿勢が示されていて、市民の皆さんも理解できる内容であります。 当市の当初予算の内容については、「広報きたあきた」に掲載されていますが、栗原市のような予算概要版を発行することで、市政運営に興味をもってもらう機会になると思いますが、発行する考えは。							
2. 少年議会について ①少年議会の導入について 山形県遊佐町において、20年間にわたり、少年議会を開催しているが、テレビで報道され、全国的に注目されています。少年議会は、中高生によって構成されており、町長と議員は立候補制で全学生の直接選挙により決定され、当選証書も発行されます。年間予算は45万円で、全員で課題と調査・研修を6月から12月まで放課後や休日を活用して18回実施し、政策を提言しています。 少年議会のねらいは、少子高齢化の中で、これからの町づくりをしていくのは若者であると考え実施しています。活動を通して、大きな成長を遂げ、遊佐町に関心を持つようになり、自信や責任感が生まれています。 今後も中高生のうちから町政に参加できる場を大切にし、「残りたい町」「帰って来たい町」「住みたい町」を目指せるよう事業を進めていくと話していました。 また、選挙権が18歳に引き下げられ、これまで以上に主権者教育の重要性が高まっています。本事業を通して、政治への関心・興味を育んでいきたいと話しています。 当市でも若い感性を表現できる場所作りが大切であると思いますが、導入する考えは。							